

# ワクワク通信

お客様とイバセキを結ぶホットライン

9月号 2020 

発行元：茨石商事株式会社

TEL: 0299-24-2680

<http://www.ibaseki.com>

Infomation

## 人材募集のお知らせ



検針業務にて若干名の空きができましたので  
募集をいたします。

空き時間に有効に使える人気の職種です。  
詳細はお電話にてお問合せ下さい。

# 今秋 茨石商事は 電気 売ります。

## 詳細は、次号で。

今を切りとる  
社長エッセイ

「遠き日の夢」

春のステイホームの期間中何十年か振りで  
家中の整理をしました。予想以上に不要な  
物も多く処分に苦労しましたが、その中で  
屋根裏収納から出て来た或る懐かしい物と  
共に、遠い少年時代の記憶が蘇りました。

その物とは縄文時代の石器や土器の一部  
で、当時（昭和42年）私は石岡小学校の6  
年生でした。校門近く市民会館前にSと言

う文具店があり、始まりはそこの2階に招  
いてくれたS氏の部屋を見た時、私は驚き  
と胸のときめきを感じたのです。その部屋  
はタイムスリップしたかのように縄文・弥  
生時代の土器や石器で埋もれていたので  
す。それからは色々と教えて貰う為に学校  
帰りに寄り道する日々が続きました。同級  
生の仲間も何人か一緒に、その一人は市内  
で開業している0医師です。そこから少年  
たちの休日活動は石岡近辺の遺跡巡り中心  
に変わりました。

主に一人で、時には2  
～3人で自転車を使い

石岡市内（宮平遺跡、  
高嶺貝塚、波付岩遺跡）  
旧玉里村（部室貝塚）、  
時にはバスで鉢田（安  
房遺跡）まで足を延ば  
しました。



一日中遺跡を歩き回り表面に露出し  
ている石器とかを見つける地味で根  
気のいる作業でしたが、発見した石  
器を手になると何万年もの時空を瞬  
時に飛び越え、当時の人（縄文人）  
と模擬会話や指の跡から温もりを感  
じられる魅力が好きでした。

また矢じり（石鏃）は個性豊かな  
様々な石が使われており黒曜石、オ  
パール、メノウ、それに翡翠もあり  
ました。特に長野県の和田峠でしか  
産出しない黒曜石が各地で発見され  
てある事実から当時の広い交流範囲  
があつた事も少年が学んだ一つでし  
た。現在「宮平遺跡」は「常陸風土  
記が丘」の下に埋もれてしまいまし  
たが、その他の遺跡はどうなってい  
るのか？また訪ねてみたいねと前出  
0医師とも近年話をしておりまし  
た。今回は残念ながら祭事等の装飾  
に使われた貴重な玉類は鑑定書のみ  
で行方不明になってしまっており、一部の石  
器しか屋根裏には残っておりません  
でしたが、当時の将来の夢「考古学  
者」を思い出した一日でした。



# - 風呂の癒し -



明るい浴室へ変身

施工前



入口の段差を解消



施工担当  
中村

## 癒しの 空間づくり

## ふるさと紀行 つくばみらい市 『間宮林蔵生家』

蝦夷地は当時、松前藩が治めていたが幕府は享和2(1802)年、更)を設立して、本格的に蝦夷地や周辺の島々の調査を開始した。寛政12(1800)年、林蔵は函館で伊能忠敬と出会い、本格的な測量技術に接し師弟の交わりを結んだ。伊能忠敬が作成する

Y様にはタカラスタンダードのシステムバスを選んでいただきました。リオーム以前も奥様がこまめにお掃除をされていたようで、築年数からは想像できないくらい綺麗な浴室でしたが、お話を聞くと、特に壁や床のタイルの目地のお掃除が大変とのことです。タカラさんのシステムバスは、「傷つきにくく汚れにくい」ホール一浴室パネルが特徴のひとつでもあります。毎日のお手入れはシャワーで流すだけなので、お掃除がカンタンになったと喜んでいただけました。また、浴室と脱衣所との間にあつた20cmほどの段差もなくなり出入りがスムーズになりました。

浴室全体の雰囲気も変わり、Y様の娘さんにも「お風呂が広くなつて明るくなつた」と喜んでいただけて、私も嬉しい限りです。この度は誠にありがとうございました。

Y様にはタカラスタンダードのシステムバスを選んでいただきました。リオーム以前も奥様がこまめにお掃除をされていたようで、築年数からは想像できないくらい綺麗な浴室でしたが、お話を聞くと、特に壁や床のタイルの目地のお掃除が大変とのことです。タカラさんのシステムバスは、「傷つきにくく汚れにくい」ホール一浴室パネルが特徴のひとつでもあります。毎日のお手入れはシャワーで流すだけなので、お掃除がカンタンになったと喜んでいただけでした。また、浴室と脱衣所との間にあつた20cmほどの段差もなくなり出入りがスムーズになりました。

幕末に活躍した探検家の間宮林蔵。幕末の頃、「半島か?」「島か?」と世界地図で唯一謎とされていた樺太(サハリン)を探検し、その場所が島であると突き止めた人物。そして、『間宮海峡』と世界地図にその名を記すこととなつた。

間宮林蔵は、常陸国筑波郡上平柳村(現在の茨城県つくばみらい市)の生まれで、安永9年(1780年)に生まれ、15歳~16歳頃まで上平柳村で暮らしたといわれている。林蔵の才能が世に出るきっかけとなつた出来事がある。家の近くを流れていた小貝川の土木工事について、幕府の役人に意見を述べると、役人は林蔵の才能に感心し、江戸に出て学問をするように勧めた。江戸に出た林蔵は、測量学などを学び、その後幕府の土木工事を担当する役人となる。

その後、寛政11(1799)に蝦夷地を担当する役人となる。私は家のペット自慢



我が家の愛猫「ベゼ」



復元された間宮林蔵生家の様子

## グラフィティ

我が家のペット自慢

「我が家のペット自慢」に掲載をご希望の方は、奮ってご応募ください。お待ちしております。

